



テルマエ・ロマエ ? ~?

著者名	ヤマザキマリ	発行年	2009年
出版社名	エンターブレイン	ページ数	100ページ
値段	714円	ISBN	978-4047261273
コメント	古代ローマ。どーんと気合いの入った歴史浪漫かと思いきや、お風呂しか舞台にしないもんね、という人を喰った設定がすてき☆ 思い込みの激しすぎるルシウス君、かわいがってやってくださいませ。アベカンが超ハマリ役の映画と一緒に楽しみばポイント2倍ゲット！		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勤め度	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	コメント 立ち読みポイント	投稿時間
Azasu ☆☆☆☆	よくよくみれば日本の銭湯とはこんなに工夫に溢れたものなのかと、ハッとさせられる。昔ながらの銭湯に行きたくなった。			
	すべて	183P (30分)	銭湯シーン	2019/12/01 23:17:08
はま ☆☆☆☆	くだらないけど面白い。			
	1巻	180P (60分)		2019/11/30 22:14:21
chemeng ☆☆☆☆☆	身の回りにあるお風呂やウォシュレットは実はすごいものなんだなと思った。主人公ルシウスの反応がいちいち大げさで面白い。話の間にあるコラムのページも結構面白い。			
	一巻	177P (50分)	3-38	2019/11/24 00:26:27
結城楓 ☆☆☆☆☆	平たい顔族という呼ばれ方が日本人的に鼻につく気もしますが、ローマ人であることに誇りを持ちつつ日本の風呂文化をリスペクトしていて面白かったです。ルシウスが会おう人がみない人なのと、ある程度意思疎通がとれているのがすごいなと思いました。			
	1巻	180P (60分)	1話	2019/11/04 21:25:06
藤吉友香 ☆☆☆☆☆	原作の主人公の顔が、映画化のときに演じていた安倍寛と瓜二つで読んでびっくりした。話の間にあるページでは、歴史的な雑談や漫画書く上での訪れた場所でのエピソードがあり面白かったです。 帯にある、『全世界が沸いた』の沸いたがお風呂が沸いたの時と同じ漢字という偶然に気づいたのでここに書かせてください。			
	1.2巻	330P (40分)	4.10話	2019/11/01

				12:01:21
なんこう ☆☆☆☆	生まれてからずっと自宅に風呂があるのが当たり前の環境で生きてきたのでこの視点は斬新で、日本の風呂文化は進んでいるんだなと感じさせられました。			
	1巻	150P (30分)	第3話	2019/10/25 00:18:44
ケケケ ☆☆☆☆	主人公がタイムスリップして現代の風呂を参考にして自分の仕事に取り入れていく話です。温故知新とは逆な感じが新鮮でとても面白いです。自分はスタンブラリーの話が一番面白いと感じました。			
	全巻	100P (60分)	2巻	2019/10/24 23:59:00
Go ☆☆☆	古代ローマからタイムスリップしてきたルシウスが現代の風呂を学ぶ物語。おじいちゃんはサムライのようにかっこいいし、ルシウスは阿部寛のようにかっこいい。言葉は通じあわなくても、なんとかコミュニケーションをとってるところが微笑ましい。			
	第4巻、第5巻	400P (100分)	第4巻 巻末部	2019/10/18 13:38:43
MEHIWO ☆☆☆☆	日本に来て技術の凄さに驚く！というのはタイムスリップでよくある話だが、それを風呂限定に絞って自分の世界で活かすというのは新鮮で面白かった。今のアイデアをローマで活かすならどうすればよいか作者自身により考えられているのが非常に面白かった。			
	1巻全部	174P (20分)	富士山がローマの山にされたシーン	2019/10/18 13:36:58
donarudo ☆☆☆	古代ギリシャと日本を行き来する展開が面白かった。一話完結型だから、見やすかった。			
	4巻	400P (180分)	1巻	2019/10/18 10:25:56
IIDX ☆☆☆☆	当然本編は面白いが、途中で入る豆知識のようなものも面白い。そしてやはりルシウスは阿部寛にしか見えない。			
	1巻	174P (30分)	第1話	2019/10/10 23:01:17
404 ☆☆☆☆	映画は見たことありましたが、いかに阿部寛が適役わかりました			
	1巻 1-138	138P (30分)	10-17	2019/10/10 10:27:40
MK ☆☆	映画は見たことがありましたが、漫画で読んでみてもやはり面白かった。途中にあるショートエッセイも古代ローマの知識が学べて面白かった。ストリジル使ってみたい！			
	1巻	200P (15分)	ローマ&風呂、わが愛 vol.3	2019/10/10 09:07:12
かのたけ ☆☆☆	おじいさんがすごすぎていい。異世界とんでるのに普通に生活できてる。			
	電車	228P (40分)	52-62	2019/10/04 10:59:39
davi ☆☆☆☆	ローマの風呂技師が現代日本の風呂文化に触れ、それをローマに持ち帰り様々な問題を解決するというものである。			

	この話は4巻までは各話毎に区切れているので、隙間時間に読むのもってこいの作品である。			
	1.2.3.4巻	800P (150分)	4巻	2019/10/03 13:57:27
Vava ☆☆☆☆	1話完結型で非常に読みやすい。 1話ごとに作者のショートエッセイが書かれているが、こっちが本編なのではと思うくらい読み応えがある。こっちを読んでから話を読み返すと、また新しい気づきが得られると思う。			
	2巻	190P (30分)	7話	2019/10/03 13:56:47
nuknwon ☆☆☆☆	映画を読んだから漫画を読んだため、音楽がなかったり絵が動かないことによりダイナミックさが感じづらかったが、1ページまるまる使ったカット割りなどで漫画ならではのダイナミックさの表現を楽しむことが出来るシリーズだった。主人公が阿部寛にしか見えなかった。			
	全 6 巻	1101P (125分)	1巻、4巻	2019/09/27 22:42:19

[TOP](#) ^



奴隷のしつけ方

著者名	マルクス・シドニウス・ファルクス	発行年	2015年
出版社名	太田出版	ページ数	253ページ
値段	1,800円	ISBN	978-4778314750
コメント	レジに持って行ったら、店員さんに冷たい目で見られたような気が。そ、そ、そんなアブない本じゃないんですってば。きちんと歴史考証した、いたってマジメなアプローチ。イギリスの歴史家がローマ貴族のつもりで語ります。使われるより使う側になれ！ これでもうブラック企業もコワくない!?		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	読んだ場所	読んだページ数（時間）	コメント 立ち読みポイント	投稿時間
新世界の神 ☆☆☆	とても気になるタイトルだったので、授業で扱われるより前に読んでいた。タイトルのような残酷な内容ではないが、作者も少し変わっていると思った。			
	1-253	253P (250分)	特になし	2019/12/02 02:41:01
フッ化ホルミル ☆☆☆	奴隷も主人もやっぱり同じ人間なんだなぁと実感した。			
	194-199	6P (10分)		2019/12/01 23:12:40
まなつ ☆☆☆☆	授業でプレゼンの題材として扱いました。自分ではなかなか手に取ろうと思わないタイトルだけど、読んでみたら意外と読みやすくおもしろかったです。こんなに技術が進歩しても、今も昔も人間の根本は変わっていないんだなと思いました。			
	第?章奴隷の罰し方	6P (5分)		2019/12/01 18:53:15
鈴 ☆☆☆☆☆	かつてのローマをもっと知るといって、すごく興味深く読みました。歴史として習ったローマは紙の上の知識にすぎなかったけれど、この本を読んで、（奴隷にまつわる部分にフォーカスされているものの）当時の姿をより立体的に理解できた気がしました。			
	1-129	129P (120分)	26-46	2019/12/01 17:39:04
404 ☆☆☆☆	古代の奴隷のしつけ方から学べるようなところがあるとは思ってもなかった。タイトルからして手に取りにくいので授業で扱ってくれてよかった。			
	58-63	6P (10分)	58-63	2019/11/30 23:34:43

とうふ ☆☆☆	今を生きる自分には全く別世界の話だと思い読んだのですが、現代に当てはまるところがあり面白かったです。			
	184-187	4P (5分)		2019/11/30 19:42:58
オート ☆☆	現在の労働者、特に日本人の労働者と奴隷に意外と共通点がある気がして面白かった。奴隷にはならないように経営者になろうと思った。			
	26-32	6P (10分)	26-32	2019/11/30 13:57:24
鯰 ☆☆	昔の奴隷と今の雇用形態って一緒って思うとブラック企業の怖さをより実感した。経営者になっても、従業員になっても職場環境・雇用形態はしっかり確認しようと思う。			
	58-63	6P (5分)	なし	2019/11/29 16:44:26
呂布バルサン ☆☆	奴隷制度と企業に勤めること、の2つが類似していると感じた。どちらも、労働者の扱いに苦勞しており、未だ最適解が出来ていないことから、経営に答えはないのだなと感じた			
	108-140	32P (32分)	108-113	2019/11/29 11:30:08
たまきち ☆☆☆	奴隷というシステムについて解説してる本などまず見かけないから読んでいて新鮮だった。読んでみて自分の中の奴隷のイメージが変わった。			
	26-32	7P (10分)	全部	2019/11/28 15:10:38
ダンベル ☆☆☆	授業にて。上下関係があっても、やはり相手を尊重すべきというあたりさわりのないことが書いてあった。その根拠まで述べられていたので良かったと思う。			
	108-113	6P (10分)		2019/11/28 15:10:03
JM ☆☆☆	授業内で、奴隷の娯楽に関する文章を読んだ。とても面白く、また読みたいと思った本である。			
	156-161	6P (3分)	156-161	2019/11/27 18:51:01
もつ鍋 ☆☆☆	奴隷が存在すれば、それを使う人間も存在しているわけで、このページでは使う人間側について書かれていた。奴隷も人間であるのだから、彼らを上手く使えるかどうかは使う側の技量による。これは現代でも通じるなと思った。			
	108-113	6P (10分)		2019/11/27 14:36:18
上 ☆☆☆	奴隷の出身地で買い分けるなど、今につながるケースもいくつかありディスカッションもしやすい話題だった。			
	6ページ	6P (6分)		2019/11/25 17:59:37
紅いもたと ☆☆☆	奴隷という言葉には抵抗があるけれど、現代社会における会社員と捉えれば問題なく読めました。報酬、役割分担、グループ化、どれも大事ですよ。将来人を動かす側に立ちたいなら意識しておくべきポイントだと痛感しました。これからはグループワークなどでこれらの点を意識してみようかな。			

	58-63	6P (8分)	58-63	2019/11/19 14:49:51
読書好きSS ☆☆☆	筆者の考えと実例を用いて筆者の意見を強調する描写がなされていた。強い筆者の意見が述べられていた。授業のグループワークで現代社会と結びつけて考えることができた。			
	108-113	6P (10分)	108-113	2019/11/16 22:23:20
MK ☆☆☆	現代の雇用者と奴隷を結び付けて考えるとわかりやすかった。			
	58-63ページ	6P (10分)	奴隷のしつけ方	2019/11/16 15:11:55
nuknwon ☆☆☆	タイトルに似合わず現在の世界でどのように人の心を掌握するか、といった視点で読んでみると面白いかも。自分には少し内容が難しく途中で断念しました、、、			
	1-199	199P (80分)	156-161	2019/11/16 14:57:33
chemeng ☆☆☆	授業で読んだ。奴隷に罰を与える上でモチベーションを下げないようにするというのは大切だと思った。経営者が労働者を見る目はこんな感じなのかなと思った。			
	128-131	4P (5分)	128-131	2019/11/15 13:16:43
shuto ☆☆☆	奴隷についての創造が難しかったが教授が言うように現代に落とし込みながら文章を読むと大変面白かった。			
	184-187	4P (5分)	184-187	2019/11/15 00:34:41
S ☆☆☆	お祭りについての話が面白かった			
	156-161	6P (10分)		2019/11/14 23:35:27
結城楓 ☆☆☆	サトゥルナリア祭について、まるで実際に体験しているかのように具体的に書かれていて興味深かったです。現地の人と言わんばかりの語り口で、読んでいて自分もその時代にいるかのような気持ちになりました。			
	156-161ページ	6P (5分)	156ページ	2019/11/12 21:29:12
もつし ☆☆☆	現代の日本人にはあまり馴染みがなく、関係がないと思ってしまう「奴隷」が現代の「労働者」と近いものでとても参考になる。			
	26-32	5P (7分)	26-32	2019/11/12 13:28:01
きつなきせ ☆☆☆	社会人の飲み会などのように、ローマの奴隷にも息抜きは必要だよなと思った。			
	156-161	6P (4分)	160	2019/11/12 13:24:59
ピーナッツ ☆☆☆	ローマ時代の話、現代に落とし込んで考えることが、大変有効であると感じるとともに、面白いと思った。			

	184-187	4P (3分)		2019/11/12 10:35:41
gauss ☆☆☆☆	授業で読みました 奴隷の解放について知られざる一面を見て意外性を感じた。 また「解放」の存在は主人にとっても利益があり、馬にとってもニンジンであるという表現は面白かった。			
	194-199	6P (10分)	194-199	2019/11/12 10:32:38
神楽 ☆☆☆☆	ローマの歴史だけでなく、今の会社にも通じる部分があったから役立つと思った。 文章は噛み砕いてあるのでわかりやすかった。			
	65の終わり～69の初め	4P (10分)	65の終わり～69の初め	2019/11/12 10:24:17
ぴーっ ☆☆☆	奴隷の中にも主人と親しい関係を持ち、解放を望まない者もいたことを知った。 これを昇進の例に置き換えたが、なかなかいい例だったと思う。			
	194-199	6P (5分)	194ページ	2019/11/12 10:23:49
gomatamago ☆☆☆☆	奴隷多少は自由があったと知った。ただ、現代では考えられないほど立場は低いので、時代にあった支配の仕方を経営者は考えるべきである。			
	64-68	5P (5分)	奴隷のしつけ方	2019/11/12 10:11:41
hori ☆☆☆	文章が硬いため読みにくく感じる。内容自体はとても興味深いものであった。現代との比較を考えながら読むのをオススメする。			
	65-69ページ	5P (3分)	65-69ページ	2019/11/12 10:08:55
二日酔い ☆☆☆☆	解放奴隷の批判が主な内容だったが、奴隷がそもそも正当化されていいのか、としたらいいのかと考える。			
	214-218	5P (5分)	214-218	2019/11/12 09:20:41
Duo ☆☆☆☆	題名を見ると恐ろしいが、中身は現代でも応用できるものだと思います。			
	65-69ページ	5P (5分)	68-69ページ	2019/11/12 09:15:14
エロエロ仙人 ☆☆☆☆	奴隷には少し興味があるので興奮してしまった 私も奴隷になってみたいなと感じた			
	128-131	4P (5分)	128-131	2019/11/12 09:14:52
Vava ☆☆☆☆	まさかの随筆文で驚かされたが、同時に少し読みにくいと感じた。 いつの時代も変わらない人間の醜い性質が浮き出っていて、おもしろかった。			
	214-218	5P (5分)	214-218	2019/11/12 09:13:13
kk	奴隷管理は思ったよりも大変そうだし奴隷はある種家財だという認識もしたことがなかったのてい			

☆☆☆☆	い勉強になった。現代にも通づる考え方も多くあり読んで損はないと思う。			
	1-249	249P (200分)		2019/11/05 12:44:03
onakasuita ☆☆☆☆	この本は古代ローマの奴隷管理法について書かれた本だった。 実用的な面において、現代ではほとんど役に立たない本ではあるのだが、当時の生活が想像できて読んでいて楽しかった。 なんとなく現代社会に通じるところもあるように感じたので、気が向いたら読んでみると面白いかもしれません。			
	1-153	153P (180分)	86-97ページ	2019/10/28 23:10:26
SS ☆☆☆	ローマ時代の奴隷の実態の勉強になった。自分にはここまで酷い扱いはできないと思い、途中で読むのをやめた。			
	1-95ページ	95P (120分)	56-59	2019/10/15 09:06:25
クロワッサン ☆☆	語り方がローマ人口調なので最初は面白いと感じたが、読み進めると読みにくいと感じるようになって途中で挫折した。			
	1-50	50P (40分)	1-23序章	2019/10/04 10:42:34

[TOP](#) ^



有頂天家族

著者名	森見 登美彦	発行年	2007年
出版社名	幻冬舎文庫	ページ数	423ページ
値段	720円	ISBN	978-4344415263
コメント	この世の中は天狗と狸と人間から成り立っています。 三択だよ、って言われたら、何になりたいですか。 ゼツタイ狸を選びたくなる。狸になって偽銀電に化けて寺町通りを爆走して「それは阿呆の血のしからしむるところだ」って何々大笑してみたくなる。たとえ狸鍋にされても。きゃーッ。 章ごとに独立でも読めます。続編も出ましたね。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム
お勧め度

読んだ場所

読んだページ数 (時間)

コメント
立ち読みポイント

投稿時間

gauss ☆☆☆	世界観に慣れるのがむずかしい 途中で飽きてしまった			
	1-40	40P (60分)	特になし	2019/12/01 02:45:39
とうふ ☆☆☆☆	最初世界観がよくわからなかったが、久しぶりに引き込まれて読めました			
	7-417	410P (400分)	最後	2019/11/29 22:59:09
chemeng ☆☆☆☆	昔読んだ夜は短し歩けよ乙女が面白かったので読んでみた。森見登美彦の小説は世界観に引き込まれると一気に読めるのでおすすめ。			
	7-417	411P (270分)	7-417	2019/10/18 20:30:17
かまほしむ ☆☆☆☆	最後に赤玉先生に華を持たせてあげるところがいい。 僕も弁天の膝枕で耳かきをしてもらいたい。			
	7-417ページ	410P (360分)	336-417ページ	2019/10/07 09:14:23

[TOP](#)



神様のカルテ 0 1 2 3

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール
一覧

自己プロフィール

掲示板

著者名	夏川 草介	発行年	2010年
出版社名	小学館文庫	ページ数	522ページ
値段	2,050円	ISBN	978-4094086188
コメント	ものがたり、だけれど、真実。 今この瞬間、あの町でこうやって生きている人たちがいる。 信州の清冽な空気のなかに、あたたかな涙を流れます。 「良心に恥じぬというだけが、我々のたしかな報酬だ」——こんなふうには仕事をしたい。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム
お勤め度

読んだ場所

コメント
読んだページ数 (時間)

立ち読みポイント

投稿時間

呂布バルサン ☆☆☆	カルテの名前の通り、医者と関係のある物語。 医者になろうとは思わないが、医者という職業へのリスペクトは増した。			
	1-70	70P (90分)	60-70	2019/11/30 11:26:05

shuto ☆☆☆☆	神様のカルテの映画を見たことがあったから、原作を見ると映画の光景がかなり浮かんできた。 ずらずら読めて、2度読みしてしまった。			
	1-247	247P (180分)	第3話月下の雪	2019/11/10 12:10:17

二日酔い ☆☆☆☆	0? とかかれていたのを読みました。医学生の日常を青春チックに描かれていて新鮮でした。期限が1週間だったので最初の方しか読めなかったのですが、もっと読みたくなる内容でした。			
	1-50	50P (40分)	1-10	2019/11/08 11:42:59

Duo ☆☆☆☆☆	医療の現場を通して、人生とは何かと問い掛けてくるような小説です。			
	137-213ページ	77P (37分)	206	2019/10/18 22:29:44

まなつ ☆☆☆	嵐の翔くんが好きだったので読みました。映画も見ただけあります。命の大切さについて考えさせられます。24時間365日開く病院で働く一止と一止を見守り陰で支える妻の関係が好きです。			
	1-278	278P (150分)		2019/10/10 13:29:08

かまほしむ	こういう本は映画で見た方が面白い。			
-------	-------------------	--	--	--

☆☆	僕には向かない本でした。			
	70-103ページ	33P (40分)		2019/10/07 09:19:56
gauss ☆☆☆☆☆	あなたは患者の死を見て何を思うか。 日々誰かが病室のベットからあの世に去っていくなか、それぞれの人の生き方を感じ、自分の生き方を見つけていく物語。 人の生き方に答えなんてないけど自分の生き方を持つことはすごく難しくて、人生ってその答えを探していくものなのかなって感じました。自分の生き方を持っている人は強い。そんな人になりたいなと思います。			
	神様のカルテ 1 全部	251P (200分)	200 - 214	2019/10/04 23:11:13
ハンニバル ☆☆☆☆	私は実際の医療現場を知らない。 しかしこの本から想像はできる。 患者のために…しかし自分や家族も大切… 休みなしの非人間的な生活とそこにある一瞬の幸せ… なんとも言えない時間が過ぎる… ただ、良心を大切に生きていたい、そう思う。			
	1～380	380P (300分)	300～	2019/10/01 11:57:16

[TOP](#)△



新章 神様のカルテ

著者名	夏川 草介	発行年	2019年
出版社名	小学館	ページ数	413ページ
値段	1,944円	ISBN	978-4093865319
コメント	新章のテーマは「組織」。 組織が大きくなり複雑になると、それぞれがまっとうな仕事をしていても、なぜか軋みや歪みが発生して、個人の小さな熱意をつぶしにかかってくる。 そんなとき、組織人としてどう振る舞うべきなのか。その苦闘のプロセスです。前シリーズを読んでいなくても全然だいじょうぶ。 あ、最後のほうに大泣きポイントがあるので、泣き虫さんは研究室や電車じゃなく、ご自宅のベッドでどうぞ。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム			コメント	
お勧め度	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間

D・Bクーパー ☆☆☆☆	医者ってそんな辛いのか、と思った			
	1〜70	70P (60分)		2019/11/30 17:37:08

上 ☆☆☆☆	大学病院という環境の現実がリアルに描かれている。			
	1-414	414P (240分)		2019/11/25 17:30:29

いづなたん ☆☆☆☆	号泣。。。泣けるところもちろんよかったですが、インテリジェンスな言葉によるボケなど面白いところも多く、真っ正面から主張する先生がかっこよかったです。分厚いけど、読みやすい本です。			
	1-414	414P (300分)	栗原先生全てのシーン がすばらしいです！！	2019/11/15 12:53:28

M.M ☆☆☆	医学部卒の筆者が情緒豊かな表現で世界を描いてくれている。言葉の使い方が美しく、シチュエーションも具体的にイメージしやすかった。			
	295-405	50P (20分)	399	2019/11/04 22:10:39

神楽 ☆☆☆☆	主人公の思ったことや発言のひねりが面白い。毒舌が繰り出す 皮肉には理解するのに2秒くらいかかるのもあるくらい鋭い。好きな人は好きだと思うので、気になった人は主人公の発言が思ったことを読んでみてほしい。私が一番印象が残っているのは、お茶を淹れるのがうまい生真面目な医者に対する主人公の感想である。立ち読みポイントのページが該当のページである。 この本は主に大学病院の実態らしきものが色濃く描かれているが、どれくらい実態と近いのだろう			
------------	---	--	--	--

かと気になった。著者の紹介文を読んだら信州大学医学部卒と載っているから組織の雰囲気はノンフィクションに近いのかもしれない。大学病院がこんなにも入り組んでいるとは知らなかった。

全て

414P (480分)

120ページの後ろ3行

2019/09/30
22:09:23

[TOP](#)△



舟を編む

著者名	三浦 しをん	発行年	2015年
出版社名	光文社文庫	ページ数	347ページ
値段	670円	ISBN	978-4334768805
コメント	祝本屋大賞2012!! 辞書づくりてんやわんやのお話。ラノベチックなほんわか展開もあるけれど、キャラクターごとの視点の使い分けで世界観がしっかり組み立てられています。 しをんさんの職場案内は、自分にふさわしい働き場所を探す就活にもとても有用でしょう。 シネマも合わせてどうぞ。		

讀者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勤め度	読んだ場所	読んだページ数（時間）	コメント 立ち読みポイント	投稿時間
クロワッサン ☆☆☆☆☆	1つの言葉に対して色々な解釈をして新しい辞書を作ろうともがく物語。言葉って日本語っていいなと思わされる小説でした。			
	1-347	347P (270分)	50	2019/11/12 13:16:50
Go ☆☆☆☆☆	言葉っておもしろいなーって、そう心から思える作品。 使う言葉をちょっと変えると雰囲気さがらっと変わる、繊細な辞書作りを題材にした作品。 ちなみに僕のおすすめのキャラクターは西岡だ。ちょっとチャラいけど、とても暖かくて面白い人。			
	186-263	78P (60分)	224-234	2019/11/08 19:46:36
Duo ☆☆☆☆☆	適材適所とは意外にも難しいことなんだなと思いました。			
	1-36ページ	36P (25分)	35ページ	2019/11/05 21:50:43
きつなきせ ☆☆☆☆☆	日本語の美しさ、面白さを楽しめる。 辞書に対する意識が変わる作品。			
	1-347	347P (300分)	19-26	2019/11/04 20:04:28
404 ☆☆☆☆☆	辞書作りに人生を捧げる人たちが様々な視点から描かれている。天職ってこういうことかと。			
	1-347	347P (200分)	18-29	2019/10/28 11:02:02

Azasu ☆☆☆	あなたは[右]の意味を説明できますか？言葉の意味というのは数学記号の定義とは異なる。決して絶対的な意味があるわけではなく、常に曖昧で流動的なものである。そんな言葉をまとめ、ひとつの本にするその過程を描いた物語である。 少々展開が読みやすい点が気になった。			
	1-347	347P (200分)	79-83	2019/10/04 11:22:13

hori ☆☆☆☆☆	この本を読んだ後、一度色々な辞書で同じ言葉を引いてみてください。 言葉って面白いなと改めて感じさせてくれます。			
	1-347	347P (120分)	24-29ページ	2019/09/28 12:01:41

[TOP](#)△



下町ロケット

著者名	池井戸 潤	発行年	2013年
出版社名	小学館文庫	ページ数	496ページ
値段	756円	ISBN	978-4094088960
コメント	爽快に大空へ。 大田区が舞台のものづくり物語。企業の競争や特許のこともちよっと分かるし、見知った地名がちらほらあるのも親しみやすいし、人生観も深くて、さわやかに読み終われる直木賞受賞作。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	読んだ場所	読んだページ数（時間）	コメント 立ち読みポイント	投稿時間
新世界の神 ☆☆☆☆	1-496	496P (500分)	特になし	2019/12/02 02:09:36
gauss ☆☆☆☆☆	全部	496P (420分)	全部	2019/12/01 02:58:16
はま ☆☆☆	全部	496P (300分)		2019/11/30 22:13:22
MK ☆☆☆☆☆	1-496ページ	496P (120分)		2019/11/30 21:32:44
上 ☆☆☆☆	1-496	496P (300分)		2019/11/25 17:32:31

gomatamago ☆☆☆☆	思ったよりもコメディ寄りでも読みやすかった。しかし、勢いで話を押し切っているようなところも垣間見えた。キーシンの悪事が明るみに出ることなく、最後までヒーロー扱いなのは個人的に不満だった。			
	全て	496P (300分)	コンバイン	2019/11/12 10:22:50

ぴーっ ☆☆☆☆	勧善懲悪がオチというのは多くの小説に当てはまるので、そう信じて読んでいたが、絶体絶命の状態で始まり、追い討ち、裏切り、挑戦等々、様々な困難を乗り越えた先に、正義が勝つというのはとても清々しかった。 ドラマとの違いも楽しめたが、私はドラマの方が好きだった。			
	全部	496P (320分)		2019/11/11 17:11:06

鈴 ☆☆☆☆☆	面白かったです。池井戸潤さんの作品を読んだのは今回がはじめてだったのですが、これは他の作品も読んでみたいな、と感じさせられました。企業や社会について生々しく描かれている部分が、個人的なお気に入りポイントです。			
	1-496	496P (300分)	15-28ページ	2019/11/11 12:55:00

紅いもたと ☆☆☆☆☆	3年ぶりに読破できました！ドラマ化した作品に知り合いがエキストラとして出演したこともあり、時間はかかりましたが意欲的に読むことが出来ました。 エネルギーに行動することの重要性を感じ前向きにさせてくれる一冊でした。バックグラウンドが考えに影響を及ぼす様は非常に人間的で、ストーリーにより臨場感をもたらしたように感じます。 作中には自由が丘も登場します。物語を楽しみながら、「ウォーリーをさがせ！」のような感覚で探してみてもいいかなと思います。			
	1-496	496P (360分)	333	2019/11/03 19:39:22

donarudo ☆☆☆☆☆	池井戸潤の作品はやっぱり面白いなと感じました。最後の大逆転がとても良かったです。			
	全部	496P (300分)		2019/11/01 10:36:08

二日酔い ☆☆☆☆	元々ドラマの下町ロケットが好きで借りて読んでみた。ストーリーはおおすじ把握してるもののドラマとは違う部分などを楽しむことができた。仕事に対しての熱量がすごく、自分も頑張ろうと思う。			
	1-496	496P (300分)	1-20	2019/10/20 18:48:37

ケケケ ☆☆☆☆☆	いい意味でいつもの池井戸潤といった感じのストーリーです。勧善懲悪と逆転劇は読んでいてもスカッとします。本を読むのが面倒だったらこの話はドラマにもなっているのでは是非本かドラマかどちらかを見るのがいいと思います。			
	全部	496P (240分)	417-444ページ	2019/10/14 23:26:49

マツコマンガローブ ☆☆	ドラマを見た方が良いと個人的に思った。この本の著者である、池井戸潤の作品は、銀行組織・企業経営について描いた作品がまあまああるが、個人的にそれらは、割とジャンプの友情・努力・勝利に通ずるものがある。なので、ジャンプが好きな人は、面白いと感じる小説だと思う。			
	7-469	463P (300分)		2019/10/02 21:23:22



海賊とよばれた男 上・下

著者名	百田 尚樹	発行年	2014年
出版社名	講談社文庫	ページ数	910ページ
値段	1,500円	ISBN	978-4062778299
コメント	もし社長面接で「最近読んでおもしろかった本は？」と聴かれたら、これを挙げてもいいかも。 出光興産を起こした男の一生に寄り添いつつ、戦前・戦争・戦後と、日本の石油業界が乗り越えてきた幾多の苦難を活写します。小説を楽しみつつ歴史のおさらいもできてしまうすぐれもの。今の日本をつくった男たちの熱さの一端に触れていただければ幸いです。 山室がいちばん好きなのは下巻198ページの金時計のシーン。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム
お勧め度

読んだ場所

読んだページ数（時間）

コメント
立ち読みポイント

投稿時間

MK ☆☆☆☆	「黄金の奴隷たるなかれ」と述べているように、利益よりも世のため人のためということが一番に考える経営理念を貫いて、会社を何度も窮地から救い、大きくしていったことは、同じ福岡出身で端艇部所属のものとして誇りに思った。			
	上巻、下巻	910P (480分)	第2章	2019/11/30 21:22:52
D・Bクーパー ☆☆☆☆	日本人好きって人はたまらない一巻だと思う 『永遠のゼロ』の主人公の宮部が一瞬登場してテンション上がった			
	全部	899P (300分)		2019/11/26 10:30:49
shuto ☆☆☆☆	百田さんの本は割と読むけどかなり好きな部類。胸打つ感じと漢って感じがたまらない。何度も武者震いてきなものをした。てか2冊分だと思ってたら1冊分しかカウントなくて面白かったからいいけどめっちゃめっちゃにコスバ悪い。			
	上下巻	899P (400分)	下巻244-269	2019/11/21 00:44:29
Azasu ☆☆☆☆	戦後、石油もなにもない状態から国岡鐵造が国岡商店を大企業にのしあげた。その過程を描いた作品。 戦後のハングリーな感じが作品を通じて伝わってくる。国岡鐵造のポリシー、行動は現代に生きる私たちにも伝わるものがあるだろう。			
	上下巻	752P (850分)	日章丸が日本に帰ってくるシーン	2019/11/18 09:42:38
広義のコージー ☆☆☆☆	読み始めました！ 序章からワクワクがとまりません			

	1-20	20P (10分)	1-20	2019/11/06 17:24:12
ハンニバル ☆☆☆☆☆	控えめに言って、めっちゃめっちゃ面白い！！笑笑 商売なのに、金儲けに拘らず、人間を大切にしている。正しいと思ったことを必ず貫き、約束を必ず守る。そして、結果的に商売も上手くいく。 かつこよすぎません？ 時代がよかった？運が良かった？偶然？ いやいや、そんなみみっちい事はどうでもいい。 彼の生き様はそんなのでは説明できない。 周囲の人とは違うこと、良い意味で非常識なことばかりをしている。 その中では当然苦境もある。大抵の人は折れそうなものだ。 しかしそれを周囲に支えられ、共に打破していく。 残念ながら、僕には彼のような人生を歩む度胸はない。 しかし、彼のような生き方を少しでも…真似できたらそれはとても価値のある、お金では決して計れない、素晴らしい人生を送れると思う。			
	上11～446下11～444	870P (600分)	どこでも	2019/11/05 12:10:05
たまきち ☆☆☆☆☆	めちゃくちゃ面白い。この一言に尽きると思う。読めば読むほど先を読みたくなるし主人公の国岡の数々の行動に何度も胸を打たれる。今の企業は経営が困難になれば自己保身に走りすぐ末端社員をリストラする。そのような企業の社長はこの国岡という男の生き様を真似するべきである。俺も社長になったらこの生き様を真似しようと思った。また、敗戦国の小さな日本の石油会社が世界相手に戦う姿も見ものである。			
	上9-380下9-362	726P (300分)	第二章	2019/10/13 21:23:54
Go ☆☆☆☆☆	最近本離れしてる者、本に心を揺さぶられていない者全てにこの本を勧めたい。終戦で全てを失った男が、石油販売会社を再建していく物語である。私のおすすめの場面は、主人公がGHQに乗り込んで公職追放処分に対して抗議をする場面だ。彼が毅然として抗議する姿にGHQは驚き、行動に出るシーンは圧巻の一言である。この本を読むと彼の屈強な志と情熱にあなたの心は強く揺さぶられるだろう。			
	上巻11-466 下巻 11-435	881P (900分)	上巻 113-117 下巻 383-388	2019/10/04 08:41:20

[TOP](#) ^



麒麟の翼

著者名	東野 圭吾	発行年	2014年
出版社名	講談社文庫	ページ数	384ページ
値段	735円	ISBN	978-4062777667
コメント	はじめ：いきなり日本橋！ 派手な舞台装置でわくわく。 なかば：地道着実。推理の積み上げ、加賀さんかっこいい。 ラスト：いくつもの家族ドラマの重奏にしみじみ。 王道ですね。さすが定評ある作家さん。ミステリー好きのみなさまに。		

讀者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	読んだ場所	読んだページ数（時間）	コメント 立ち読みポイント	投稿時間
かのたけ ☆☆☆☆	途中まで読みにくくなかなか進まなかったが話がわかってくるにつれ面白くなった。			
	全部	372P (240分)		2019/11/27 19:54:45
上 ☆☆☆☆☆	東野圭吾の加賀恭一郎シリーズの一作品。 シリーズものだがこの一冊だけ読んでも面白い。			
	1-372	372P (240分)		2019/11/25 17:23:54
はま ☆☆☆☆	今回は家族愛がテーマの作品。 本題と別に加賀の家族のことが書かれているのでファンは嬉しいかも。			
	全部	380P (300分)	1-16	2019/11/15 00:07:54
ハンニバル ☆☆☆☆	実を言うと、加賀恭一郎シリーズの中ではそこまで好きな訳ではない。 『眠りの森』とかの方がぶっちゃけ好きだ。 しかし、どの作品も面白い事に変わりはないし、途中で「何だこれ？」って思いながら読んでいても、後から必ずじわじわくる。 大事な事だからもう一度いうと… めっちゃめっちゃ面白いっていうよりも…じわじわくる。 だから、ぜひ途中で読むのをやめてしまったという人は… 最後まで読んで見てほしい。			
	5〜372	367P (250分)	なし	2019/11/05 12:12:52
もつ鍋 ☆☆☆☆☆	はじめりは1件の殺人事件だが、その裏に想像もできないような様々な出来事が入り組んでおり、読み進めるほど面白さを感じる作品です。			

	全部	372P (240分)		2019/10/18 07:56:25
神楽 ☆☆☆☆	殺人犯はタネが明かされるまで気がつけにくい面白かった。 星5つにしなかったのは、プロログとエピログがあったらもっと面白いと私は思ったから。			
	全て	372P (240分)	小説なので最初の方読んでみる	2019/10/06 22:29:06
SS ☆☆☆☆☆	東野圭吾の作品は本当に最高。読み出したら止まらない。図書一覧に麒麟の翼しかないのは本当に残念。 若気の至りで大きな過ちを犯してしまい、そしてそれを殺人というさらなる大きな過ちでごまかそうとした少年達の葛藤の物語である。 人は自分の犯した過ちから目を背けてはいけない、きちんと罰を受けて、またやり直すことが重要であると学ばされた一作でした。			
	1-372ページ	372P (360分)	358-359ページ	2019/10/01 17:47:03
Duo ☆☆☆☆☆	謎が多い事件でしたが、少しずつ解き明かされていく過程は、読み応えがあります。			
	1-372ページ	372P (262分)	244-245ページ、315ページ	2019/09/29 16:55:16

[TOP](#)



- 図書一覧
- 書籍紹介
- 読者投稿欄
- 映画一覧
- プロフィール一覧
- 自己プロフィール
- 掲示板

精霊の守り人

著者名	上橋 菜穂子	発行年	2007年
出版社名	新潮文庫	ページ数	360ページ
値段	637円	ISBN	978-4101302720
コメント	地図から始まるファンタジー、青霧山脈に鳥鳴川、その時点でもうわくわくします。冒頭いきなり紅葉の溪谷に皇子さまがひらひらと落下していった、そこからぐいぐい加速するストーリー。この世と平行してひろがるナユグというあの世の存在とか、世界観も骨太に構築されていて、強くてかっこいい女用心棒のバルサが大好きになってしまうと、続編へ続編へと10巻一気に読みコースに突入してしまいますのでご用心。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	読んだ場所	読んだページ数（時間）	コメント 立ち読みポイント	投稿時間
フツ化ホルミル ☆☆☆☆	上橋菜穂子さんのファンタジーはいいぞ。 ファンタジー作品は、戦闘とか政治とかそういった面に囚われがちな気がするがこの本ではその中でも食事といった生活の描写であったり、人々との関わりであったりをしっかり描いているので話の緩急がついていて読んでいて楽しい。 守り人シリーズは読破しようね！			
	360	360P (300分)		2019/12/01 22:47:25
アツ ☆☆☆☆	小学生ぶりに改めて読んでみましたが、今でも面白く感じられます。戦闘シーンの躍動感は読みごたえがありました。			
	360	360P (180分)		2019/12/01 22:27:49
はま ☆☆☆☆	話は面白っちゃ面白いけど、全体的に対象年齢が低い感じで胸焼けしそうになった。			
	全部	360P (240分)		2019/11/30 22:24:47
紅いもたると ☆☆☆☆	しっとりとした情景描写や臨場感のある力強い戦闘シーンに魅せられました。綾瀬はるかさん主演のテレビシリーズを初めの方だけ見たことがありましたが、一冊分楽しむなら小説からドラマの方が良かった気がします…！！ 命の尊さ、相互理解の大切さを学ばせてくれたあたたかい小説です。 シリーズ一作目のため、この後の展開がとても気になりました。今度は小説を読んでからテレビを見ようと思います。			
	1-360	360P (210分)	287-293	2019/11/23 20:23:10

鯨 ☆☆☆☆	上橋奈穂子さんの獣の奏者が好きであったが、やはりこの本も世界観が素晴らしい。 冒頭しか読めてないが、バルサにどんな運命が待っているのか楽しみが止まらない。 時間がある時にまたじっくり読みたい。			
	13-69	56P (45分)	25-44	2019/11/22 15:27:26
gauss ☆☆☆☆	とても面白かった！ 内容が緻密に作られていて実際にある神話かのように物語に引き込まれた。特に人物の心情描写が 圧巻で、思わず読んでるこっちが体感してる気分になる。いい作品である。			
	全部	342P (180分)	チャグムが初めてナユグを見るシーン	2019/11/12 01:45:15
ネム ☆☆☆☆	獣の奏者が好きで、その作者の作品だったので読んでみました。独特な世界観と、戦闘シーンがと ても面白かったです。アニメも放送されているようなので、機会があれば見て見たいと思いまし た。			
	全部	360P (150分)	バルサの戦闘シーン	2019/10/29 16:45:32
MEHIWO ☆☆☆☆	面白かった。好みでない人の小説を読むのは初めてで、流れを掴むのにだいぶ時間がかかってし まったけど読み切れてよかった。いろんな文化を認め合ったり、さまざまな階級の人がお互いに一 つのことに向かったりする様子の後味が非常に良かった。設定が多いので歳を取ったら読めなくな りそう。			
	全部	360P (240分)	190,207-212	2019/10/17 22:22:03
ハンニバル ☆☆☆☆	最高。 もうページ数は稼いでいるからつまらなかつたら少しか… と思っていたが、そんな心配は無用だった。 特にバルサの戦闘シーンは格別。 続編も必ず読みます。			
	1-360	360P (300分)	270-280	2019/10/17 12:59:14

[TOP](#)



カササギ殺人事件 上・下

著者名	アンソニー・ホロヴィッツ	発行年	2018年
出版社名	創元推理文庫	ページ数	727ページ
値段	2,160円	ISBN	978-4488265083
コメント	どっぷりミステリーしたいかたに。 2018年暮れののミステリー界総括は、どのランキングもこの本が燦然と一位に君臨しておりました。これだけ圧倒的に評論家と読者の絶賛を浴びるのは珍しい。 期待は（たぶん）裏切られません。上巻ではまって読み進んで、下巻の冒頭でいきなりはぐらかされて、そこからまたのめり込んでの二重構造。精緻なつくりこみに感嘆しつつのエンディングです。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム			コメント		
お勧め度	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間	

かまほしむ ☆☆☆	1週間で読み切れず、途中で断念。 小説は好きなので、今度自分で買ってみようかと思いました。			
	21-360 9-105	435P (330分)	330-360	2019/11/11 11:33:26
神楽 ☆☆	最初の本の説明のようなところと、カタカナの名前が覚えられず続きを読むのを断念した。 先入観なしにこの本読みたいなら21ページから読むことがオススメ。			
	上1～22ページ	22P (15分)	上の21ページから	2019/10/06 22:36:43
Duo ☆☆☆☆	たっぷりミステリーを楽しめる作品です。			
	上1-360ページ、下1-229ページ	589P (497分)	上77ページ、上345ページ	2019/10/04 08:24:38

[TOP](#)△



火星の人 上・下

著者名	アンディ・ウィアー	発行年	2015年
出版社名	ハヤカワ文庫SF	ページ数	1,280ページ
値段	631円	ISBN	978-4150120436
コメント	リアルで破天荒。矛盾する要素がちゃんと並存しています。 火星の過酷な環境をしっかりと踏まえ、ムチャなご都合主義はいっさいなく、とてもリアルに孤独なサバイバーを追っかけながら、ストーリー展開は、「えっ？ そこへ来る??」と、しっかりエンタテインメント。語り口もユーモラスで構成も工夫されてて◎。 シネマリストの映画『オデッセイ』と合わせて、お楽しみください。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム
お勧め度

読んだ場所

読んだページ数（時間）

コメント
立ち読みポイント

投稿時間

anknownnnn ☆☆☆☆	だいぶ前に読んだことがあったが再読。 何度読んでも先が分かっているけど楽しめた。			
	上下	631P (360分)	なし	2019/11/30 00:04:25

404 ☆☆☆☆☆	SFだが限りなくリアル 主人公のモノログに惹きつけられる			
	舞台装置は映画オデッセイの方を観て映像で補完するとさらに楽しめると思う			
	上下全て	631P (420分)		2019/10/10 11:40:33

IIDX ☆☆☆☆☆	映画だけだとテンポが良すぎて付いていけず、文庫だとイメージが湧きづらいのでどちらとも見ることをオススメする。 本書での敵は「自然」である。自然はとても意地悪で理不尽だが、賢い人が集まって、正しく知識を使い、困難を乗り越えて行く。その姿を見ていると、とても気分が良くなってくるので、読み終わった後の気持ちよさは凄まじい。			
	上1-319ページ・下1-312ページ	631P (480分)	上9-20ページ	2019/10/03 11:38:38

[TOP](#)



羊と鋼の森

著者名	宮下 奈都	発行年	2018年
出版社名	文春文庫	ページ数	244ページ
値段	702円	ISBN	978-4167910105
コメント	祝本屋大賞2016！ ピアノ調律師。あまり馴染みのない世界を舞台に、一生の仕事ってなんだろう、と真摯に、しなやかに問います。 「どんなことでも一万時間かければ形になる」んだって。その道まっしぐらタイプの東工大生さんの心に響くストーリーかな、と選んでみました。華やかさはないけれど、透明で軽やかな語り口です。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム		コメント
お勧め度	読んだ場所	読んだページ数 (時間)
		立ち読みポイント
		投稿時間

SS ☆☆☆☆	本屋大賞受賞作という事で読んでみた。自分も主人公のような、一生をかけても良いと思える仕事に出会いたいと思う。			
	all	268P (300分)	64	2019/11/30 06:53:48

鈴 ☆☆☆	表現が綺麗すぎて、私には、読むのが若干きつく感じられてしまいました。物語自体は、心落ち着くような、素敵なものだったと思います。好みがわかれそうですが、このようなタイプの本を好きな方も、多いと思います。			
	1-244	244P (180分)		2019/11/19 11:29:10

いづなたん ☆☆	なんだか単調で面白くなかった。。。とても話題だったので、期待していたのもあるのかもしれませんが、、途中でやめてしまいました。			
	1-70	70P (30分)		2019/11/15 12:55:52

S ☆☆☆☆	なんとと言っても繊細な文章だったと思う。 主人公がとても真面目な性格に描かれているため、調律師の世界と一緒に段々と理解していったような気がした。			
	全部	244P (360分)	立ち読みじゃ中々難しいと思う	2019/11/08 20:50:39

chemeng ☆☆☆☆	青年がピアノ調律師として成長していく物語。普段は小説を読むことはないがせっかくの機会なので読んでみた。ピアニストじゃなくて調律師が主人公の物語は珍しい気がする。			
	7-266	260P (170分)	212	2019/11/03 11:11:13

Duo ☆☆☆☆	天職との出会いとはどういうものが学べました。			
	1-82ページ	82P (60分)	75ページ	2019/11/01 17:29:09

donarudo ☆☆☆☆	ある調律師である青年の物語です。ピアノの音など様々な難しい情景描写がきれいに表現されていて、読んでいて全然飽きなかったです。主人公の考え方、生き方がかっこ良かったです。			
	全部	244P (180分)		2019/11/01 10:41:32

55 ☆☆☆☆	ひたすら主人公の視点で物語が進んでいく珍しい(少なくとも自分の中では)構成だった。そのおかげで主人公の思いを想像したら、感情移入したりするのが非常に楽で話にのめり込むことができると思う。 特別面白くないと感じる人もいようだが、私はとても面白いと感じた。			
	全て	273P (180分)		2019/10/29 14:28:06

JM ☆☆☆☆	ピアノの調律師というテーマで、主人公の姿に心温まる作品だと感じた。主人公が純粹で真っ直ぐな姿にうっとりくる人もいだろう。他にも、仕事に向き合う考え方なども考えさせられる作品で、流石本屋大賞を受賞した作品だなと思った。			
	全て	268P (150分)	140あたり	2019/10/25 07:40:51

たまきち ☆☆☆☆☆	この本を読んでいると森というワードが頻繁にでてくる。なぜかと言うとことあるたびに主人公は自分の幼少期に体験した森での体験をピアノを調律する上で経験したことに照らし合わせているからだ。正直この比喩に近い表現は私の国語力ではわかりにくすぎた。これ以外にも頻繁に比喩が出てくるので全体として少し読みにくい印象があった。読んでいる時、なぜこんなに森を意識するのかよくわからなかった。しかし、読み終わった時、森を抜けたようなそんなスッキリした感覚があった。この時俺はああこういうことだったんだなって思った。特別面白い小説でもないし、陰キャのドキュメンタリーみたいな内容だが是非最後まで読んで欲しいと思う。この小説の作者の感性、文体、比喩そういうものにきっと魅了されると思う。			
	1-273	273P (180分)	P214-215	2019/10/13 20:57:24

ケケケ ☆☆☆	この本はひたすら主人公目線で話が進められていきます。そのため他の人物のモノローグが一切ありません。だから主人公が何をどのように感じたかがすごくわかりやすくそこに集中して読むことができます。 自分としてはこの物語の主人公は欲がなさすぎて少し不気味だと感じていましたが、立ち読みポイントの部分では主人公の人間らしさが現れていて主人公に共感することができるかもしれません。			
	7-274	268P (240分)	240-241	2019/10/04 07:09:46

藤吉友香 ☆☆☆☆	1人の青年がピアノの調律師になっていくストーリー。 主人公が音楽を聴いた際の感想・食事・赤ん坊の泣き声などが、自然の情景やラジオの電波、犬の種類など様々な比喩を用いて描かれている。 情景描写が綺麗で読んでいて快適であり、一つの物事に関して、十の情景描写がされていた本であった。 それ以外にも、調律師として目指すべきものについての悩みなどがすべての物事に関して通じるものであると感じ共感できた。 特に、立ち読みポイントとして挙げた137-139には『才能』について語っているシーンで、ハッとしたのでぜひ読んで欲しいところである。 ぜひ映画も見たいと思う作品であった。			
	7-274	268P (180分)	64-67 89-92 137-139	2019/10/01 10:52:06



蜜蜂と遠雷 上・下

著者名	恩田 陸	発行年	2016年
出版社名	幻冬舎文庫	ページ数	507ページ
値段	1,944円	ISBN	978-4344030039
コメント	クラシック音楽愛好家さんにお薦め。といってもおカタイところはなく、コンクールという枠組を巧みに使って、4名の演奏者たちもくっきりキャラ立ちしてて、500ページの大作だけど演奏中に居眠りなんてことはありませんでした。あからさまにウザいやツガひとりも出てこないのもGood。音楽は善悪では測れない。天上のハーモニーはまさにgift。 2017直木賞＆本屋大賞ダブル受賞なのもナットクの貴禄。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム	お勧め度	読んだ場所	読んだページ数（時間）	コメント	立ち読みポイント	投稿時間
-------	------	-------	-------------	------	----------	------

donarudo ☆☆☆☆	実は恩田陸さんは高校の大先輩なのだが、夜のピクニック以外の作品を読んだことがなかったの で、これは読むしかないと思って読みました。恩田陸さんの独特の世界観が広がっていて、長い はずなのにスラスラ読めました。				
	全部	962P (300分)			2019/11/29 10:45:58
きつなきせ ☆☆☆☆☆	最初はページ数が多く、普段本を読まない私は読む気になれませんでした。一旦読み始めてしま うと手が止まりませんでした。クラシックに興味が無い人もクラシックの美しさを味わって見た くなと思います。 栄伝亜夜が成長していく様がよかった。				
	全て	962P (480分)	下巻298-345		2019/11/08 14:09:35
M.M ☆☆☆☆	本を選んだきっかけは映画を見たことと直木賞を受賞した作品であったこと。音楽に対する知識が 浅くても、文章から音を連想させる。天才と呼ばれる人間たちの葛藤も描かれて、とても人間臭い ところも魅力。				
	上下全て	962P (320分)	下巻382-491		2019/10/27 00:52:16
ケケケ ☆☆☆☆☆	主人公たちがピアノを弾いているシーンは読み始めの方は新鮮で面白いと思ったがやはり音楽を文 字に起こすとしても似たようなシーンになってしまうのだなと感じた。後半の演奏シーンは飽 きてしまったので読み飛ばしてもストーリーは理解できると思う。				
	上下巻全部	962P (450分)	上下巻の1-6ページ、 下巻の508ページ		2019/10/10 09:09:25

[TOP](#)



旅猫レポート

著者名	有川 浩	発行年	2017年
出版社名	講談社文庫	ページ数	328ページ
値段	640円	ISBN	978-4062854801
コメント	こなまいきな猫ちゃんに思いっきり泣かされたいかたは、いらっしやいませんか？ 電車のなかで読むとキケンだぞ、と100を超えるAmazonのレビューが大合唱なもの、うなづけます。ほんと2度目に読んでも泣けました。 ポップな文体でかろやかに展開しつつ、しんしんと雪の降り積む終盤へ。 あの銀色のワゴン、いまも日本のどこかを走っている気がします。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム		コメント	
お勧め度	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント
			投稿時間

はま ☆☆☆☆	猫飼ってるからかわからないけど、泣ける。			
	全部	328P (300分)		2019/11/30 22:25:54
anknownnnn ☆☆☆☆	頭を空っぽにして読むとなかなか感じるものがあった。 流れはよくありそうなもの			
	1-328	328P (240分)	なし	2019/11/30 00:25:50
たこやき ☆☆☆	猫が主役の、青年との友情物語というのは新しい発想で興味をひかれた。しかし、話の内容としては、意外性はなく、やはりそうなるかと先が見える展開が多かったのがもったいないと感じた。			
	1-328	328P (300分)		2019/10/25 10:42:46
55 ☆☆☆☆	本の始めが「吾輩は猫である」の書き出しを引用して真似ているところからまず惹かれる主人公である猫が面白く人生(猫生?)を過ごしていく様子が見ていて可愛い。			
	1-352	352P (150分)		2019/10/25 09:05:24

[TOP](#)



小説 君の名は。

著者名	新海 誠	発行年	2016年
出版社名	角川文庫	ページ数	262ページ
値段	560円	ISBN	978-4041026229
コメント	もしかして、入れ替わってる!? おなじみテンプレの展開から始まるけれど、彗星に縁取られて、ストーリーはどんどん加速します。きれいな情景描写は、やっぱり新海さんの絵で楽しみたいけれど、小説は小説で、かるやかに一場の夢を駆け抜けてくれます。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	読んだ場所	読んだページ数（時間）	コメント 立ち読みポイント	投稿時間
新世界の神 ☆☆☆☆	小説での内容だけならば面白いとは思うが社会現象になるほどとは思えない。映画が受けたのは音楽ときれいな画によるのが大きいと思った。			
	1-262	262P (200分)	特になし	2019/12/02 02:13:14
アツ ☆☆☆☆☆	映画で複数回見ているので内容はずっと入ってきました。やはり本で読むと自身のペースで進めることができ、じっくりと物語の良さを堪能できます。			
	すべて	262P (120分)		2019/12/01 23:01:22
はま ☆☆☆☆	映画よりも小説の方がやはり伏線回収が分かりやすく、個人的には小説の方が楽しめました。ただ感情輸入する点では音楽があった方がいいのでそこは好みかも。			
	全部	262P (120分)		2019/11/30 14:38:19
神楽 ☆☆☆☆☆	映画は見たことあったのだが、映画は映画、小説は小説と切り分けて楽しむことをした。あとがきで作者も書いていたが、小説は一人称で描かれていて、映画は当然三人称でみる。その違いがあって、映画で見ても小説で読んでも楽しいと思う。映画と小説にはそれぞれの長所があるから「総じてどちらが良い」とか比べることはできないと思う。小説では本人がどう思っているのかが詳しくわかり、私も主人公になった気持ちで焦ったり嬉しくなったり感動したり安堵したりした。その分感動も大きかった。また、自分以外の気持ちは想像することによって推し量るので、現実性があるって私もこの世界に入ったような気がした。私の記憶では映画ではなされてなかった地の文での、神秘的なことに関する説明や、人の記憶がどこから来るのか(184ページ)のようなことが書いてあり考えさせられた。情景が綺麗な映画をみるのもいいし、小説を読むのもいいし、両方を比べてみるのも良いかもしれない。			
	全て	262P (180分)	6〜9ページ、184ページ	2019/11/28 16:41:28

chemeng ☆☆☆	映画→小説の順番でみた。小説を読んでいると映画の中のシーンとか音楽が頭の中で再生されて楽しめた。ただ、君の名は。はキレイな映像とかRADWIMPSの歌とかも含めて好きなので、映画版の方がずっと面白いかなと思った。			
	6-262	257P (160分)	全部	2019/11/28 10:56:13
いづなたん ☆☆☆	映画を見ていたので、スラスラ読めた。曲が聴きたくなっし、映画の方が好みかも			
	全部	262P (50分)		2019/11/15 15:08:06
davi ☆☆☆☆	映画を見ていたから、情景が綺麗に浮かんだ。 逆にいえば、映画を見ていなかったら鮮明に光景が浮かんだかは際どいところである。 内容としても人と人が入れ替わるというややファンタジーな内容なので、映像で見た方が面白いと思う。 しかし、流石の新海誠作品なので普通に内容は面白い。読んでる時、頭の中でradwimpsの曲がずっと流れてました。			
	1-262	262P (240分)	210-230	2019/11/12 09:50:49
shuto ☆☆☆☆☆	映画の後購入してすぐ読んだが、radの歌が聞こえてきそうだった。 映画より滝くんや三葉の心理描写が細かくて感情移入しやすいけど個人的には映画のほうが感動した。			
	1-262	262P (120分)		2019/11/10 12:13:08
かのたけ ☆☆☆	映画が話題になっていたので読んでみた。いれかわってる人が同じ時を生きていないというのはとてもおもしろかった。			
	全部	262P (150分)		2019/11/03 19:16:32
donarudo ☆☆	前に映画も見たことがあったが、小説の方も気になったので読んでみた。正直、映画の方が良い。音楽や映像の方が文章より感動できた。			
	全部	262P (180分)	200らへん-262	2019/11/01 10:48:26
ハンニバル ☆☆☆☆	テンポよくスラスラよめる。 僕は映画を見ておらず、あんまり内容を知らなかったのだから… 感想としては映画から入った方がいい気がする。 よくわからない事もあるし、感想としては…取り敢えずアニメを見たい。			
	1-262	262P (60分)	6〜43	2019/10/24 15:38:11
JM ☆☆☆☆	映画でも見たことがあるが、小説でも面白いわかりやすい物語だった。最初の伏線を回収するところや読者を引き込むように描くところも良かった作品であると思う。ハッピーエンドなのもまた良い。流行っただけある作品だった。			
	1-262	262P (180分)	254-259	2019/10/22 13:19:56
エロエロ仙人 ☆☆☆☆☆	電車で読んで泣きそうになりやばいやつだと思われたかもしれない。 映画は観たことあったがその時はあまり感動とかもなく、泣けるのはわかるけどごちゃごちゃしてよくわからんなあと思ってた。			

	小説で読んでみると、映画では表されていない2人の心情がしっかり書かれていてとてもわかりやすく、最後のシーンでは涙が出てしまった。映画は視点が三人称になりがちだが小説で読むと瀧くんと三葉ちゃんに感情移入できた。 つまり何が言いたいかという和三葉可愛い結婚して			
	1-262	262P (140分)	186-189	2019/10/14 19:18:49
ケケケ ☆☆☆☆	自分はこの作品は映画と小説の両方で見ました。2つとも見た感想としてはこの作品を十分に楽しみたいのであれば映画を見ることをお勧めします。小説版では映画版にはない描写もあるのでそこと比較しながら楽しむことができます。モノローグも盛られているのでキャラクターの心情などは小説版を読んだ方が理解できると思います。 立ち読みポイントでは新海さんがこの作品に対してどのように考えているのかわかるのであとがきまでしっかり読むことをお勧めします。			
	6-262	257P (200分)	254-258	2019/10/04 07:24:35
S ☆☆☆☆	映画→小説→映画という流れで読んだ上で感想。 まず映画を見ることをお勧めする。その上で小説を読む事で、映画を見た時に感じた違和感等が設定の細かさや伏線の繊細さによるものだと気付かされる。そこで初めて『君の名は』を名作たらしめた物が何か理解できるだろう。 伏線の回収が丁寧で美しい事を重視する人にはオススメ。			
	全部	262P (110分)	全部読まないと面白くない	2019/10/03 17:36:36
SS ☆☆☆☆	興行収入2位の名にふさわしい名作。黄昏時などの伏線も多く張り巡らせており、その繋がりに気づき、ストーリーの全貌が見えた時は感動しました。			
	6-252ページ	246P (180分)	227-228ページ	2019/10/03 10:10:31

[TOP](#)へ



君の臍臓をたべたい

著者名	住野 よる	発行年	2017年
出版社名	双葉文庫	ページ数	328ページ
値段	720円	ISBN	978-4575519945
コメント	デビュー作にして大ヒットのキミスイ。アニメ化を機会に入れてみました。 文章は拙いし、王道設定も不自然さありまくりだけれど、ういういしい直球勝負が、若い感性にヒットしたのでしょう、たぶん。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	読んだ場所	読んだページ数（時間）	コメント 立ち読みポイント	投稿時間
新世界の神 ☆☆☆☆	映画で見てみたいと思っていたが結局見れなかったので今回読んでみた。テーマは重く考えさせられるような内容だったが読み味は割とすっきりしていた。			
	1-328	329P (300分)	特になし	2019/12/02 02:17:31
神楽 ☆☆☆☆	主人公の、死に向かう人に対するの対応がうまい。私だったら哀れんでしまいそうだ。			
	3〜57ページ	54P (30分)	最初の章	2019/12/01 23:44:42
アツ ☆☆☆☆☆	映画で見るよりも何度も同じ箇所を見直すことができるのでより深く感動することができました。本で物語を読むことの長所であると思います。			
	1-328	328P (240分)	すべて	2019/12/01 22:23:58
mt8 ☆☆☆☆	題名みて、メンヘラの話かな？って思った。 メンタルがやられるのは読んでいるこっち側だった。 ヌルっと始まって初めは困惑した。しかし、死という重いテーマでも非現実的ってこともなくサクサク読むことができた。			
	全部	328P (240分)	序盤数ページ	2019/12/01 20:54:43
はま ☆☆	この題名は詐欺。 ホラーのグロ小説を想像すると裏切られます。			
	全部	328P (240分)		2019/11/30 22:18:05

中村憲剛 ☆☆☆☆	ヒロインと主人公が恋仲なのか最後までよくわからなかった。			
	全部	328P (200分)		2019/11/30 18:54:38
D・Bクーパー ☆☆☆☆	映画面白かったから読みはじめました。			
	1〜30	30P (30分)		2019/11/30 17:42:24
SS ☆☆☆☆	死について深く考えさせられた本だった。周りは泣いた泣いた言うが、自分はどうしても泣けなかった。そのことを友達に話すと、頭おかしい扱いされるので嫌いだ。			
	all	325P (200分)	125	2019/11/30 07:04:09
gauss ☆☆☆☆	「君の臍臓をたべたい」 この言葉にこんなに泣かせられると思わなかった。すげー泣いた。切なすぎる。 余命宣告されたらどうするか、なんて余命宣告されないと考えない。けどもしされたとしたらもっと楽しく過ごしたかった、もっと笑っていたかった、もっと大切な人と過ごしたかった、、って考えるだろう。でもこれって何気ない普通の生活で思ったっていすぎることはなくて、みんなそう思って生きていけばきっと人生はすごくいいものになる。だけどみんな考えない、だれも明日死ぬなんて思っていないから。 何を言いたいかといういつもの生活で少し、ほんの少しでいいからこうしてよかったと死ぬとき思えるように生きてみるといいんじゃないかってこと。 一日一日を大切に生きようね			
	全部	325P (300分)	全部	2019/11/30 04:14:56
nuknwon ☆☆☆☆	自分は映画を先に見たので、本を読みながら映像としてシーンが浮かび上がってくる場面が多く、とても新鮮な感覚になった一冊。最初と最後の繋がりを読み取るため一気読みがおすすめです。			
	1-325	325P (190分)	全部読まないと話のつながりが分らないと思います	2019/11/29 08:59:21
たまきち ☆☆☆☆	死を前にしたとき人はどう生きるべきか。いつ死ぬかなんて誰にもわからない。だからこそ今を一生懸命に楽しく生きるべきだと思った。			
	1-325	325P (180分)	できたら最初から読んでほしい	2019/11/28 15:22:08
ダンベル ☆☆☆☆	高校生の時に読んでいたので、サクッと読みました。 当時かなり流行っていて、読んだ後に親に貸したら文章がひどいと言っていたのを思い出しました。 母親は結構な本読みだったので、文末の表現や文章展開に引かれたのだと思います。今読むとその理由がわかりました。 ただ、普段本を読まない数年前の自分がこの本を読んだら、ストレートにしみるものがある、そんな作品です。			
	1-325	325P (150分)	ラスト	2019/11/28 15:00:01
かのたけ ☆☆☆☆	自分より若いのにこんなに死に向き合えてすごいと思う。とてもよい話で感動した。			
	全部	325P (200分)		2019/11/27 19:51:56

55 ☆☆☆☆☆	実写版、アニメ版と映画を見てから小説を読んだのでストーリーは知っていたためスラスラと読み進めることができた。 毎回思うけど、いい話。 ラストも衝撃的だし、何回でも読み返せる本。			
	1-325	325P (240分)		2019/11/27 18:59:31
chemeng ☆☆☆☆☆	難病ものとかありふれた話でしょと思っていたけど感動した。主人公二人の会話のテンポが良くて面白い。目の前にいる相手が長くは生きられないと知ってどう感じるか、どう接するかといった切ない気持ちが伝わってきた。			
	1-325	325P (210分)	全部	2019/11/22 13:54:12
shuto ☆☆☆☆☆	まあめっちゃ泣いた。読み進めていた時はああこのままさくらはがんで亡くなるのかとおもっていたがこんな終わり方だと思わなかった。また、主人公の名前めっちゃ好き。			
	1-325	325P (180分)	269-302	2019/11/21 00:37:42
Azasu ☆☆☆	私のまわりだと「君のすい臓を食べたい」は男性から評判は良く、女性からは共感できないという意見が多かった。男性は、ヒロインの明るいけれども、どこかはかないところ、インキヤの主人公にも積極的に話しかけるところが魅力的だったのだろうか。モテたい女子是非参考にされたし。			
	すべて	328P (300分)	冒頭とラスト	2019/11/15 14:09:46
いつなたん ☆☆☆☆☆	映画を見に行っていたので、小説版もよんでみました。正直映画よりも良かったです。さのよるさんの他の作品も買ってしまった。病気で若くして亡くなるって悲しいですよ			
	全部	328P (120分)	カフェで彼女を待ち続けたところ	2019/11/15 12:42:49
二日酔い ☆☆☆☆☆	とにかく感動した。 人はいつ死ぬかわからないし、いつ死んでもいいように全力で生きようと思う。自分の死ぬまでにやりたいことリスト的なものも作ってみるのもいいかもしれない。			
	1-328	328P (300分)	1-10	2019/11/14 22:38:43
エロエロ仙人 ☆☆☆☆☆	この本はやばい 人生でおそらく1番感動した 食わず嫌いをしていた過去の自分をぶん殴りたい。 まあ殴ったところでなにも変わらないが 臓腑の病気を持ってるカップルが目の前の死を感じながらイチャイチャする話なんだろうなと勝手に思っていた。 実際に読んでみると想像と少し違うなと感じた。 主人公の本名がずっと隠されているのは面白いなと感じた。 終盤のシーンはずっと涙が止まらなかった。なんなら涙と一緒に鼻水も止まらなかった。 まだ読んでない人は是非これを機会に読んで欲しいと思う。後悔はしないと思う。 咲良ちゃんみたいな女の子どこかにいないかなあ 恭子ちゃんみたいな子でもいいけど			
	1-328	328P (230分)	全部読んで	2019/10/23 00:00:43
JM ☆☆☆☆☆	死ぬことは同じなのに死め理由が違うだけでこんなにも意味が変わるものなのかと思えた作品であった。また途中の言葉使いなども面白く、なるほどなと思う節が多々あった。しかし、浜辺美波がかわいいので小説よりも映画の方が好きである。			
	全て	325P (180分)	後半	2019/10/22

			13:27:00
--	--	--	----------

S ☆☆☆☆	あまりこういった青春系の小説は好まないで、敬遠してたが良い機会だったので読んでみた。結論から言えば食わず嫌いはやめようと思った。君の臍臓を食べたいが想像の2.3倍深い意味を持っており、久々に泣かされた。食わず嫌いしてる人には是非読んでほしい		
	全部	325P (120分)	全部 2019/10/20 23:13:08

gomatamago ☆☆☆	空元気とも言えるヒロインが切なく思えた。結末はいいものではないと分かっているけど、前に向かって歩いていく主人公の姿も印象的だった。ただ、個人的にはオチは臍臓でまとめてほしいと思った。		
	1~325	325P (300分)	前半3分の1くらい 2019/10/18 11:24:53

結城楓 ☆☆☆☆	久々に小説を読みました。本当は誰もがいつ死ぬか分からないのに、それを忘れてしまっていることを痛感しました。生を意識しすぎると怖くなって人生がつまらなくなってしまう気もしますが、周囲の人々から愛される桜良にもしっかりと芯を持っている主人公にもなりたいたい、誰かの憧れの的になりたいと思います。作中に出てくる「世界に存在する音量の差し引きはゼロだ」という表現が好きです。		
	1-325	325P (330分)	171ページ付近 2019/10/15 08:17:01

いなり ☆☆☆	数年前に買って読んだのだが、記憶がなかったので再び本を開いてみた。今いる友達、家族などを大切にしないといけないと思った。		
	全て	325P (120分)	全部 2019/10/10 13:03:31

かまほしむ ☆☆☆☆	映画版の方が好きだけど、やっぱり小説も悪くない。余命を宣告された高校生の気持ちや、それを見送る友達や恋人の気持ちが、生々しく伝わってきた。いつでも終わりが来ていいように生きていきたい、		
	2-325ページ	323P (155分)	268-286ページ 2019/10/10 09:10:13

ぴーっ ☆☆☆☆	さくらに訪れた突然の死から、明日が来ることを当たり前と思わずに、これまで以上に日々を大切に生きたいと思った。芯を強く持ち、誰からも愛されるさくらは恐ろしくよく出来た人間だなあと感じた。		
	全部	328P (230分)	全部。 2019/10/09 18:04:20

星の口ミ ☆☆☆☆	私は映画を先に見てから読んだので、映画の記憶をたどりながら読んだが、映画を観てない人でもとても読みやすいのではないと思う。また映画とは違った見方ができるので、その違いを楽しむのもひとつの楽しみ方である。ひとつ確実に言えることは、浜辺美波かわいい。		
	全て	328P (360分)	最初 2019/10/08 14:42:18

Nd ☆☆☆	主人公の男女が互いに正反対の性格で自分が持っていないものに惹かれ合う姿に共感できたり、人間の寿命は限られていて思ってるより儚く、死は意外に身近で時間を大事にしようと思った。		
	1-328	328P (240分)	全部 2019/10/04 03:33:46

MEHIWO ☆☆☆☆	影響力のある人はだいたい「強い人」であることが多いけれど、主人公の二人は色んな意味で「弱い人」だったのが印象的だった。テンポの良い日常会話や普通の人、特に人間関係に弱い人が、共感できるような話だった。映画を見たことがあったが、改めて死生観が変わる話だと思う。また時間を空けてこの話に触れたい。			
	全部	328P (200分)	222	2019/10/03 19:23:52

呂布バルサン ☆☆☆☆	改めて、映画化される小説は総じて面白いと感じた。 本書を読めば、主人公に当事者意識をもつことで、人の命が有限であることを痛感し、今ある人間関係のありがたみを肌で感じる事が出来るので、万人におすすめの良書であった。			
	1-328	328P (200分)	1-328	2019/10/01 10:05:20

ハンニバル ☆☆☆☆	軽いテンポで楽しく進みます。 日常のなんでもない会話がとても気楽に楽しめます。 しかしそのありふれた日々の中のちょっとした事で病気を感じ、そして突然に訪れるその日々の終わりから、日々の生活、特別でも何でもない時間がいかに大切か、楽しむべきか、感じられます。 読みやすく、そして心にくる一冊です。			
	1-325	325P (400分)	最後以外どこでも	2019/09/30 13:14:08

[TOP](#)



かがみの孤城

著者名	辻村 深月	発行年	2017年
出版社名	ポプラ社	ページ数	554ページ
値段	1,944円	ISBN	978-4591153321
コメント	いじめ、不登校、ひきこもり、そしておとなたちが干渉しない鏡の向こうの世界へ——。ここまでは、現実逃避あるあるの展開なのですが、そこからの子どもどうしの関係づくりとラストの腑に落ち具合は、さすが2018本屋大賞受賞作。 500ページ超えの迫力でファンタジックな世界をご堪能ください。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勤め度	読んだ場所	読んだページ数（時間）	コメント 立ち読みポイント	投稿時間
onakasuita ☆☆☆☆	面白かった。 特に主人公がきちんと救われているのがよかった。 なんとなくこの小説は、現実とインターネットの世界と似ていると思った。			
	1-554	554P (240分)	1-60	2019/11/30 13:52:14
読書好きSS ☆☆☆☆	違う時代を生きる悩みを抱えた少年たちが絆を築き上げていくストーリーに感動した。最後に今までの謎が解き明かされ、予想できない展開となっているのが面白かった。			
	1-554	554P (360分)	27-31	2019/11/28 21:32:14
はま ☆☆☆☆	一応最後に伏線の回収がありますが、正直全体的に対象年齢が低いのか大体予想が着いてしまったのが残念。 内容はいじめをテーマにしている重く、中々に面白かったです。			
	全部	554P (300分)	最後以外	2019/11/23 15:27:07
S ☆☆☆☆	とても伏線がわかりやすいため、8割くらいは結末を予想できた人が多いのでは無いだろうか。 といっても物語自体はとても作り込まれており、読み応えのある一冊。			
	全部	554P (480分)	立ち読みというか喜多嶋先生に対して「懐かしい」と表現した所が個人的にはとても印象深い	2019/11/08 20:53:35
結城楓 ☆☆☆☆	ちょうど一年前に読んだものを読み返しました。主人公と一緒に謎を解いていく感覚が楽しいです。初見で納得した主人公の謎への解釈も、一度結末を知っていると相違点があるもののしっかり			

	伏線が回収されていたことに驚きました。文章は子ども目線なのもあって優しいですが、謎は一筋縄ではいかなくて、でも最後まで読み進めると「上手いな」と思わざるを得ないです。			
	1-554ページ	554P (320分)	全部	2019/10/23 13:43:36

オート ☆☆☆☆☆	さすが2018年本屋大賞！ 最高だった。 終盤の伏線回収はとても見事で読んでてスカッとした。 分厚いが一回世界観にハマったら一気に読み終えてしまった。			
	1-554	553P (360分)	415-554	2019/10/14 22:29:54

かまほしむ ☆☆☆☆☆	設定が細かく、最後の最後まで共有された謎を最後に解き明かす辻村スタイルの代表。最後まで読むとオモロイ			
	1-554	554P (510分)	326-505	2019/10/08 23:15:06

ハンニバル ☆☆☆	虐めの描写が多く、辛かった。 同じような展開が序盤は多く続くようで、途中で飽きて読むのをやめてしまった。			
	1～187	187P (200分)	180～186	2019/10/08 09:22:43

MK ☆☆	いじめの描写が生々しく、読んでて心が痛くなった。 非現実的な世界からどう立ち直っていくのか読んでて気になっていった。			
	1-70ページ	70P (30分)	20-30	2019/10/01 09:18:24

Vava ☆☆☆☆☆	怒涛の伏線回収は圧巻でした。推理や謎解きを描くときには、まず種あかしをつくって、それをどう伏せて展開するかでお話を作っていく行程があると思います。その行程すらも作中の人間にやらせてしまうことで、本当に独立した世界観に没頭することができました。 ずいぶん子供向けな書き方なのに、ところどころのネタは僕ら世代にドンピシャなのもいいですね			
	100～554	450P (200分)	258～339	2019/09/30 00:24:30

Vava ☆☆☆☆	懐かしい児童書の名作のサンプリングが多く、いろいろなお話がつながる楽しさがあります。子供のころいっぱい児童書を読んだ人ほど惹き込まれること間違いなし。			
	1-101	100P (90分)	6月の章	2019/09/27 13:16:36

[TOP](#) ^



そして、バトンは渡された

著者名	瀬尾 まいこ	発行年	2018年
出版社名	文藝春秋	ページ数	372ページ
値段	1,728円	ISBN	978-4163907956
コメント	おめでとう本屋大賞2019。 わけあって、おとうさんが3人、おかあさんが2人。極端な状況を設定しながらも、派手さやエグさはありません。こまやかな心理描写とお料理描写で、家族のかたちをしみじみ問いかける、みたいな。森宮さん（ババのほう）のキャラクターがいいなあ。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム		コメント	
お勧め度	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント
			投稿時間

Vava ☆☆☆☆☆	何度も変わる苗字と、変わらない人と人の繋がりに感動しました。立ち読みポイントは一章のラストです。			
	1-372	372P (220分)	281	2019/11/16 16:55:00
hori ☆☆☆☆	確かに面白いが、いかんせん長い！ 時間があるときにゆっくり読みたい本です。			
	1-372ページ	372P (180分)	330-372	2019/10/29 09:02:36
MK ☆☆☆☆☆	あまり本を読まないのもありますが、ここ数年読んだ本の中で一番面白かった！ 親が5人いるということで複雑で悲観的な気持ちを持った主人公の苦悩描いた作品だと想像していたのですが、全くそういうことはなく、それぞれの親から深い愛情をもらってたくましく成長していく、温かみのある作品で読んでいて穏やかな気持ちになりました。 それぞれの親が全員個性があって、優子が色々な形で育てられていく様子は読んでいておもしろかった。			
	1〜372	372P (150分)		2019/10/15 14:02:40
かまほしむ ☆☆☆	中島みゆきの麦の唄までセットで聞いた方がいい			
	4-372	368P (150分)	298-365	2019/10/13 15:27:45
まなつ ☆☆☆☆☆	お父さんが3人、お母さんが2人という複雑な家庭環境を背景にもつ主人公優子の話です。血が繋がってなくても全ての親に愛され、育ってきた優子には羨ましさすら感じました。話にひきこまれて行き帰りの電車でずっと読んでいました。家族の大切さがわかる心温まる小説です。			

	1-372	372P (200分)		2019/10/10 12:59:14
--	-------	-------------	--	------------------------

onakasuita ☆☆☆	話自体は良かったのですが、主人公の家庭事情が特殊なせいで、小学生の主人公の方が主人公の高校同期より大人に見えて違和感があった。 家族のあり方について考えさせる良い本だった。			
	自宅	372P (180分)	300-372	2019/10/04 13:36:47

中村憲剛 ☆☆☆☆☆	家族をテーマにした作品。複雑な家庭環境で育つ主人公の人生を時代を行き来しながら書いている。いろんな家族の形を見て考えさせられる。			
	1～372	372P (200分)	330～372	2019/10/04 08:56:56

[TOP](#) ^



三体

著者名	劉 慈欣	発行年	2019年
出版社名	早川書房	ページ数	448ページ
値段	2,052円	ISBN	978-4152098702
コメント	ご存知でした？ three-body problem = 3体問題。3つの星の運行は予測できないんだとか。それをモチーフに、理系ネタを織り込んで、政治ネタも絡めた中国発の異色SFが、ただいまヒット中です。 異世界描写の奇天烈さに唖然としているうちに、物語はぐんぐん加速して・・・え？ 終わらない？ 三部作？？ だいじょうぶ、終わってなくてもトリップできます。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム	お勧め度	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	コメント	立ち読みポイント	投稿時間
-------	------	-------	--------------	------	----------	------

ピーナッツ ☆☆☆☆	資本主義と社会主義、科学・文明と自然、といった大きなテーマについて考えさせる本でありながら、ストーリー自体が大変面白いです。				
	P.1-P.447	447P (250分)			2019/10/04 20:44:44
Duo ☆☆☆☆	この本を読んでいる間は、異次元にいるような気分になりました。				
	55-132ページ	78P (70分)	108ページ		2019/10/01 08:49:52

[TOP](#) ^

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール
一覧

自己プロフィール

掲示板